

検索サイトに潜む、危険な地雷

JJ1SXA/池

無料のフリーソフトの検索を無造作に行っていると、正規サイト以外も数多くヒットする、そしてその中には、危険なサイトも含まれる、危険なサイトを大別すると、次の4つだ。

(1) ウイルス地雷…悪意のあるマルウェア

スパイウェアやウイルスなど完全に悪意のある偽物で、個人情報やクレジットカード情報などを盗み出される恐れがある、普通のアプリを装うので、怪しいサイトからダウンロードしないよう注意する。

(2) 偽アプリ地雷…偽の診断アプリなどで金銭詐取

怪しいサイトや偽のダウンロードボタンには、診断アプリなどを装う、偽アプリ地雷も埋まっている。

無料とうたいながらパソコンの障害発生を偽り、巧妙な手口で課金に誘導する、アプリ自体に実害は無いものの、限りなく詐欺に近い存在だ。

(3) 偽警告地雷…偽サポートや悪質アフィリエイト(成果報酬型広告)

現在は、ウイルス感染などを偽り、偽のサポート窓口へ誘導して金銭を詐取する手口が目立つようだ、

偽の診断アプリ(偽アプリ地雷)をインストールさせたり、本物の有料アプリの購入を促してアフィリエイト収入を狙うパターンもあるようだ。

(4) 押し売り地雷

無関係のアプリを抱き合わせでインストールさせる手口、セキュリティ対策アプリなどを押し売りしてくるケースは珍しく無いようだ。

以上のような地雷に引っかからないための3つの基本ルール

- (1) 正規サイト以外からダウンロードしない
- (2) インストール前に利用許諾をしっかりとチェックする
- (3) ユーザーを脅かす文言に騙されないこと

正規のサイトとしては、「窓の杜」、「Vevtor」などの国内大手のダウンロードサイト、アプリ提供元サイト「Microsof Store…マイクロソフトストア」以上の3つは、身元がはっきりしていて信頼できる。

地雷アプリを誤ってインストールしてしまったら解決策は削除の一択、迷惑レベルのアプリならアンインストールすればOKの場合が多いが、削除が難しいアプリやウイルスが入り込んでしまった時は、パソコンを初期化するしか無い。

アンインストールしてもレジストリに痕跡を残すアプリもある、心配なら削除専用フリーソフト(Geek Uninstaller)を使う、地雷の中には、アドウェアと呼ばれるアプリもある、これは、専用の削除アプリ、例えば「AdwCjeaber」等を使えば良い、アンインストールが困難なアプリは「個人用ファイルを保持する」を選択してOSの初期化、最後の手段は個人用ファイルをバックアップして完全初期化だ。(前記2つのソフト「Geek Uninstaller」、「AdwCjeaber」は信頼できるものだ)

(2023年4月記)